

石のまち、寺のまち、川のまち

梅園学区

UMEZONO



未来に伝えたいメッセージ

梅園小学校が梅園の地に来て100年。わたしたちのまちには、古いお店、二十七曲がりのまち並み、お寺や神社、伝統を受け継ぐ職人さんなど歴史があふれています。わたしたちが受け継いだ歴史や伝統を未来へ伝えていきます。

梅園小学校6年生(平成28年度) 前田 尚香さん

登下校では、優しい地域の方々がぼくたちを見守ってくれます。学校では、百歳をこえた「くすくん」が見守ってくれています。そのおかげで安心して楽しい学校生活が送れます。大人になったら、ぼくたちが梅園のまちを守ります。

梅園小学校6年生(平成28年度) 羽田野 成邦さん

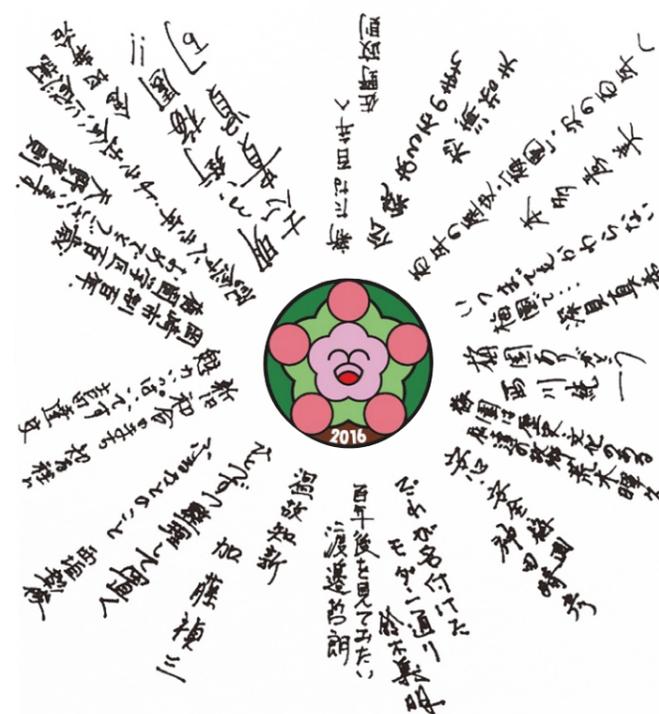
創立145周年を迎えた梅園小学校は岡崎市内で1番古い学校です。100年前から校庭にそびえる楠「くすくん」は、みんなから愛されているお母さんのような存在。歴史ある梅園小学校はわたしたちの誇りです。

甲山中学校3年生(平成28年度) 水谷 真奈さん

梅園学区に流れる伊賀川。春には満開の桜が咲き川をより華やかにしてくれます。ぼくたちが小学校5年生のときには、ホタルが舞いました。これからも、伊賀川が梅園学区に笑顔と光を届けて欲しいです。

甲山中学校3年生(平成28年度) 天野 颯太さん

作成委員の直筆メッセージ



編集後記



△希望の風船を飛ばした梅園百歳フェスティバル



△くすくんの木の下に設置された梅園百歳モニュメント(卒業生より寄贈)

記念マーク「百梅くん」

「梅園」が生まれて百歳。「くすくん」が植えられたのも同時期ということで、「梅」と「くすくん」をモチーフに子どもたちが考えました。「梅」の模様と、それを支える大樹「くすくん」の模様を組み合わせています。真ん中には、「百」の文字を図案化して百歳を喜ぶ笑顔にしています。

岡崎の中心地である梅園には紹介するところが数多くあり、あらためて梅園のすばらしさを知ることが出来ました。今後も次世代に継承していかななくてはと思っています。作成にあたりご協力いただいた皆様にはお礼申し上げます。



〔作成委員会〕 渡邊哲朗/鈴木義明/神田晴彦/加藤禎三/志貴賢司/吉田達史/荒木暉久/天野良則/佐野政則/本多孝美/深見真希/西川純一/杉浦哲夫/西垣彰俊/倉地耕治

〔参考資料〕 うめぞの風土記(岡崎市立梅園小学校編)/新編岡崎市史20(総集編)
〔表紙写真〕 学区のベタンク大会参加者と梅園小学校の児童がくすくんの下に集合しました。偶然ですが100名ピタシ!

梅園学区の100年

まちのなりたち くすくんとともに

一九一六年 ■ 大正 5

市制施行に伴い校名が愛知県額田郡岡崎高等学校から梅園尋常高等小学校と改称。校舎も康生町から現在の稲熊4丁目に移築

一九二〇年 ■ 大正 9

伝馬町公設市場開設…1

一九二八年 ■ 昭和 3

箱柳町が梅園学区となる

一九四〇年 ■ 昭和 15

伊賀川堤防約2kmの間に桜の木2600本を植樹

皇紀2600年の記念事業として、市民から寄付金を募りました

一九四一年 ■ 昭和 16

梅園尋常高等小学校を梅園国民学校に改称

一九四五年 ■ 昭和 20

岡崎空襲により康生町、伝馬地区被災…2

一九四七年 ■ 昭和 22

梅園消防団結成(団員118名)

梅園国民学校を岡崎市立梅園小学校に改称

一九五七年 ■ 昭和 32

籠田公園開設

一九六六年 ■ 昭和 41

名鉄バス岩中線開通 箱柳町の児童がバス通学となる

一九六八年 ■ 昭和 43

六地藏町、祐金町、十王町が梅園学区となる

一九七六年 ■ 昭和 51

稲熊町に岡崎石製品工場公園団地が完成…3

一九八三年 ■ 昭和 58

梅園学区の子ども会運営による「第一回うめっ子まつり」が開催

一九八五年 ■ 昭和 60

梅園学区市民ホーム開館

一九八八年 ■ 昭和 63

梅園学区こどもの家開館

一九八九年 ■ 平成 1

総代会、社教委員会など、学区26諸団体による梅園協議会発足

一九九四年 ■ 平成 6

梅園公園完成

それまでは、町じゅうに石屋が点在していました。石加工の機械化が進み、騒音や粉塵などの公害が問題になり、移転へ…

一九九五年 ■ 平成 7

梅園協議会主催第一回レクリエーション大会開催

二〇〇〇年 ■ 平成 12

人口増加により町区分が29町から31町となる

二〇〇四年 ■ 平成 16

梅園小学校の新校舎完成…4

二〇〇七年 ■ 平成 19

梅園小学校新体育館完成

二〇〇八年 ■ 平成 20

平成20年8月末豪雨 床上、床下浸水により約300世帯が被災

二〇〇九年 ■ 平成 21

梅園学区福祉委員会が設立

耐震を強化した鉄筋コンクリート校舎です！

二〇一六年 ■ 平成 28

伊賀川改修・小呂川合流部拡張工事完成…5

子どもたちの元気な姿を見届けてきた 梅園小学校の楠 くすくん

よろしくね!

梅園小の校庭には、大正天皇のご即位記念として大正4年に植樹されたクスノキがあります。「くすくん」として親しまれ、学区のシンボルになっています。

DATA

□人口	14,240人
男性	6,985人
女性	7,255人
□世帯数	5,688世帯
□面積	6.02km ²

[2016年7月1日現在]

学区の特色

岡崎のほぼ中央に位置する梅園学区は、古い歴史と石工業などすぐれた伝統産業や文化を誇る地域で、徳川家康にまつわる由緒ある神社・仏閣も多くあります。

学区内には、行政の中心である市役所があり、籠田・伝馬地区や稲熊地区での商業も盛んです。さらに、伊賀川流域や箱柳地区など、学区のあちらこちらに今でも豊かな自然が多く残っています。

学区の行事

子どもからお年寄りまで1000人以上が参加する「学区レクリエーション大会」や、子ども会の6年生が中心になり企画・運営を行う「うめっ子まつり」などを開催しています。また、各神社のお祭りも盛大に行われており、学区民が集うイベント満載の街です。



△うめっ子まつり(2015年の様子)



◁学区レクリエーション大会(2014年の様子)

楽しそうだね!



- 5 平成20年8月末豪雨で小呂川流域が浸水被害を受け、小呂川から伊賀川への流入口を約5倍に拡張
- 4 梅園小学校の教室等は充実した設備が自慢!外観も明るくテラスもあり、モダンな校舎になっている
- 3 岡崎石製品工場公園団地。稲熊町・箱柳町・小呂町に造成し、47業者で操業が開始された
- 2 焼け跡にたたく菅野市長(当時)。江戸時代から住宅が密集しているエリアで、火災に弱かったという
- 1 米騒動の対策として開設。265坪、7店舗で食料品や生活用品などを販売した

- 二〇一六年 ■ 平成 28
- 二〇〇九年 ■ 平成 21
- 二〇〇八年 ■ 平成 20
- 二〇〇七年 ■ 平成 19
- 二〇〇四年 ■ 平成 16
- 二〇〇〇年 ■ 平成 12
- 一九九五年 ■ 平成 7
- 一九九四年 ■ 平成 6
- 一九八九年 ■ 平成 1
- 一九八八年 ■ 昭和 63
- 一九八五年 ■ 昭和 60
- 一九八三年 ■ 昭和 58
- 一九七六年 ■ 昭和 51
- 一九六八年 ■ 昭和 43
- 一九六六年 ■ 昭和 41
- 一九五七年 ■ 昭和 32
- 一九四七年 ■ 昭和 22
- 一九四五年 ■ 昭和 20
- 一九四一年 ■ 昭和 16
- 一九四〇年 ■ 昭和 15
- 一九二八年 ■ 昭和 3
- 一九二〇年 ■ 大正 9
- 一九一六年 ■ 大正 5

学区にある寺・神社リスト

寺院

- ① 圓頓寺
- ② 興連寺
- ③ 西照寺
- ④ 聖徳寺
- ⑤ 春谷寺
- ⑥ 真宗大谷派 三河別院
- ⑦ 随念寺
- ⑧ 崇源寺
- ⑨ 誓願寺
- ⑩ 千祥寺
- ⑪ 専福寺
- ⑫ 善立寺
- ⑬ 貞松寺
- ⑭ 東林寺
- ⑮ 徳順寺
- ⑯ 西本願寺三河別院
- ⑰ 法専寺
- ⑱ 宝福寺
- ⑳ 宝林寺

神社

- ① 岡崎天満宮 (F)
- ② 稲前神社 (K)
- ③ 徳王稲荷社 (B)
- ④ 諏訪神社 (H)
- ⑤ 熊野神社



梅園学区拡大MAP



C 梅園公園
公園内の展望台から市中心部が一望できる



B 徳王稲荷社
4月下旬から5月にかけて「藤まつり」が開催される



A 伊賀川の桜
市内でも有数の桜の名所。春の満開時は見応えがある



F 岡崎天満宮
1217年創建。もとは総持尼寺の鎮守の神として奉斎された



E 箆田公園
公園入口に建てられた、戦災復興を記念する石碑



D 大黒屋
岡崎宿伝馬の賑わいを知る松の木がある



H 諏訪神社の石灯籠
市内で最古といわれている石灯籠 (岡崎市指定文化財)



J 伝馬の常夜灯
1803年に作られた、市内に残る最も大きな常夜灯



I 花岡町の常夜灯
1813年に作られた常夜灯。火袋は空襲によりなくなつたという説がある



K 稲前神社
創建は奈良時代といわれ、岡崎で最も古い神社ともいわれている

梅園学区 まちものがたりマップ

歴史ある寺や神社が多く、岡崎宿の中心であった伝馬通りは、今でも商業地区として賑わいを残しています。そんな学区内の旧跡や名所、見どころを紹介します。

COLUMN G 歩いてみよう！ 石仏遊歩道

明治から昭和にかけての山岳信仰が盛んな頃、木曾御嶽山にならって石仏が建立され、御嶽山の里山として崇められました。天照天皇などの石仏が大小40体ほど点在しています。道路脇に石仏遊歩道入り口の案内碑があります。

特集1 / 国登録有形文化財建造物を巡ろう

岡崎市内にある国登録有形文化財(建造物)16件のうち9件が梅園学区にあります。

それぞれの場所はP4-5のMAPページをチェック!

旧石原家住宅

六供町

江戸時代後期の町屋の姿を今に伝える貴重な建物です。石原家はかつて米穀業・金融業をいとなむ商家で、江戸時代に総持尼寺の寺領であった石原家4代目の石原東十郎によって建てられました。国登録有形文化財(建造物)となっている主屋と土蔵は1859年、庭門は昭和初期に建築されました。



ここが見どころ

1主屋：通常より二階の天井が低い「木造つし二階建て」で、農家形式の建物 2土蔵：木造二階建てで、切り妻屋根が棧瓦葺きである 3庭門：六角形の木柱が2本あり、自然木を加工した控柱が本柱を支えている

大光山善立寺

祐金町

日蓮宗見延山久遠寺の末寺として、現在も三河地方の中心的存在の寺です。創建は1467〜1469年で、開山は本山妙覚寺十五世本是院日護上人といわれています。本堂、七面堂、玄関、山門が国登録有形文化財(建造物)となっています。



ここが見どころ

1本堂：寄棟造、棧瓦葺、内陣に禅宗様須弥壇を置く 七面堂：切り妻造、棧瓦葺 玄関：本堂の東側に立ち、唐破風造 2山門：棧瓦葺の高麗門形式

岡崎信用金庫資料館

伝馬通一丁目

大正6年に岡崎銀行本店として建造され、現在は岡崎信用金庫資料館として運営されています。本格的なルネッサンス様式を取り入れた建築で、赤レンガと岡崎産の花崗石を組み合わせたレトロな建物です。



1階は市民ギャラリー、2階はお金にまつわる展示コーナーになっている(入館無料)

日本福音ルーテル岡崎教会 教会堂

伝馬通四丁目

戦後復興期の1953年(昭和28)に建てられた木造教会で、塩焼赤瓦屋根と白い壁、教会堂の上にある十字架が特徴です。内部中央の礼拝堂の天井は化粧小屋組で、キングポストトラスを見せています。



毎週日曜日の午後2時半から日曜礼拝を、12月24日の夜にはクリスマス礼拝を開催

特集2 / 伝えたい 伝統工芸

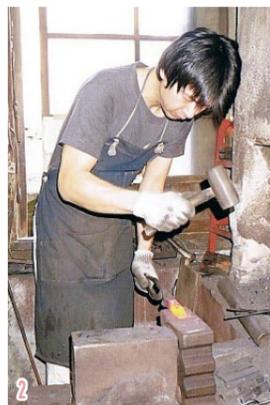
1 石工業

学区内には手作り等による伝統的な工芸が多数あり、昔から現在、現在から未来へと受け継いでいます。

岡崎の石工業は、その良質な素材と優れた技術力により、全国的にも高い評価を得ています。石工業発展の起源は、1590年に岡崎城主となった田中吉政が、城下町整備にかかわる堀や石垣の築造に石工を河内や和泉の国から招き、随念寺門前に土地を貸して保護したのが始まりと言われています。岡崎北東部に良質の花崗岩を多量に産出し、各種石工芸品に加工して石都岡崎の特産品となりました。昭和51年には稲熊町に石の公園団地も設立され、その技術と伝統を現在も守り続けています。



1ノミを使って加工する職人さん 2石工道具を作る鍛冶屋さん 3梅園小にある市内小中学校最古の二宮金次郎石像と「百年庭園」の春日型灯笼



海外からも注目される三浦太鼓店

3 和太鼓

1865年(慶応元)創業。現在は和太鼓作りに加えて、6代目が太鼓教室やイベントなども行い、積極的に活動しています。



写真は5代目三浦彌市さん

明治40年創業の松井本和蝋燭工房

2 和蝋燭

和蝋燭や手描きの絵蝋燭を、100%国産の木蠟を使用した昔ながらの製造方法で製造・販売しています。現在は3代目の松井規有さんが営業中です。



全工程を1本1本手作りしている

岡崎の弓道を支える林忠兵衛弓具店

4 弓道具

明治20年頃から独自の弓の銘柄を製作してきました。終戦後に弓の製造を中止し、現在は弓や付属品の販売をしています。



岡崎は弓道が盛んな地域で、弓具の需要が高い

辻村煙火店と花火職人の入山さん

5 花火

辻村煙火店は昭和35年創業で、原料作成加工、玉作成などを行っています。花火職人の入山さんは、平成8年まで線香花火を作っていました。



稲前神社の手筒花火



入山さんが作った線香花火